



## CONTENTS

- 1-トピックス 第23回ヤング・サマー・セミナーへのお誘い
- 2-私の提言 フィジカルAIをきっかけに品質とスピードのバランスの議論を
- 2-ルポルターージュ 第150回クオリティトールクルボ
- 3-ルポルターージュ 第456回事業所見学会ルポ
- 3-新規研究会申請受付/行事案内
- 4-行事案内/新会員管理システム導入/JSQC規格頒布/代議員・役員選挙告示

発行 一般社団法人 日本品質管理学会  
 東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内  
 電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507  
 ホームページ:www.jsqc.org/

## 第23回ヤング・サマー・セミナーへのお誘い

第23回ヤング・サマー・セミナー幹事 吉田 悠夏

2025年に約10年ぶりの復活を果たしたヤング・サマー・セミナーを今年も第23回ヤング・サマー・セミナーとして継続開催いたします。品質管理に関わる若手技術者・研究者・学生同士、ネットワーキングの場として活用しませんか？

第23回ヤング・サマー・セミナーは、2026年8月5日(水)～6日(木)に静岡県浜松市で開催いたします。詳細については、日本品質管理学会ホームページ

<https://jsqc.org/23ysss/>  
 をご覧ください。



(会場：AQUAWINGS 全景)

### ヤング・サマー・セミナー(YSS)とは

ヤング・サマー・セミナーは、「若手会員の親睦をはかるとともに、品質管理や応用統計などのホットなテーマを中心に勉強・議論し、自己研鑽の場を提供すること」(JSQC ニュース、No.159)を目的として、1993年に日本ゼオン(株)一碧荘を会場にスタートした1泊2日の滞在を通して開催されるセミナーです。2013

年の第21回を最後に休止していましたが、2025年に多くの方々のご協力を得て、約10年ぶり第22回として再開する運びとなりました。そして、多くの参加者から「また参加したい」とのお声をいただき、2026年も継続開催いたします。

### 第23回YSSプログラム

参加者同士の分野や立場を越えた交流の場、また、みなさまが取り組んでいる課題解決に向けた新たな発想のための学びの場として、研究発表会・懇親会・特別講演の開催を予定しております。

研究発表会では、参加者の中から希望を募り、取り組んでいる研究や課題について発表していただき、参加者同士で議論を行う場として企画を進めております。学会の研究発表会や年次大会での研究発表とは異なり、理論・方法論・応用・事例等の発表・討論に限らず、発表練習や研究アイデアについて、また、日頃の業務での困りごとや悩みなどを共有し、お互いの考えを持ち寄って意見交換ができればと考えております。みなさまの課題解決に向けて、是非この研究発表会の機会をご活用いただけたらと思っております。

特別講演では、産業界および学術界の第一線で活躍されている3名の

先生方の講演を予定しております。産業界から、前田建設工業株式会社・執行役員ICI総合センター長である岩坂照之様、学术界から、東京理科大学・理事である椿美智子先生、順天堂大学・特任教授である岩崎学先生にご講演いただけることとなりました。講演内容は当日のお楽しみとありますが、近い距離でお話を伺うことができる貴重な機会になるのではないかと考えております。

気軽に交流できる場として企画している1日目夕食後の懇親会では、より親睦を深め、新たなつながりが生まれる場を目指し、準備を進めております。



(第22回YSS:椿広計先生による特別講演の様子)

このセミナーが、その後のみなさまの研究・業務の発展につながり、新たな交流が生まれる場となるよう、ベストを尽くしていきたいと思っております。

みなさまと8月に浜松でお会いできることを、心より楽しみにしております。

## ● 私の提言 ●

フィジカルAIをきっかけに品質と  
スピードのバランスの議論を

名古屋大学 森崎 修司



欧州からの来客で日本の電車が定刻通りに到着することを楽しみにしている人がいます。鉄道会社、運行事業

業者はいったいどういう工夫をしているのか、自国の鉄道システム、運行事業者は何を学べるかといった点を質問されます。鉄道は私の専門ではないため論文や記事を調べたことがあり、秒単位での発着時刻管理、旅客にも整然と並び、迅速に乗降するよう協力を啓発するという点を知りました。それ以降「トップから現場まで安全を最優先とした上で」と付け加えて、これらを答えています。定刻通

りの運行という価値／品質に旅客も協力していると捉えられます。

私の専門分野はソフトウェアの高品質化と開発の効率化を目的とするソフトウェアエンジニアリングです。ソフトウェアが広く浸透し多様になるのに伴い、利用／購入者がソフトウェアの品質にあまり期待していない領域が現れています。そうした領域以外でも「ソフトウェアだから」という理由で品質に対する期待が世界的にも下がっているように感じます。調査結果にもとづくものではありませんが、開発期間の短縮（スピード）を優先することが常態化し、利用／購入者もそれに慣れていっているのが理由の一つではないかと考えます。2018年出版の書籍Blitzscalingでは、ソフトウェア／サー

ビスの戦略としてスピードをそれ以外（品質を含む）よりも優先し、まずは市場シェアを大きくすることを勧めています。スマートフォンアプリはスピード優先のものが多いので、バグや頻繁なバグ修正（アップデート）を「そういうもの」と捉えておられる読者も多いと思います。好ましいかどうかはおいておき、こうした領域では提供者はスピードを品質よりも優先し、利用／購入者も許容していると捉えることができます。

ソフトウェア（AI）の指示で現実世界の物体を動かすフィジカルAIが具体化しつつあります。生産設備のロボットで使われ、運転者不在の自動運転タクシーの運行がここ1、2年で東京の公道でも始まろうとしています。これらは現実世界での安全や財産を脅かす可能性があるため、過度な開発スピード優先を是正し、利用／購入者とともにスピードと品質を適切なバランスにすべき領域です。こうした領域で日本の強みを最大化するために議論すべきときがきています。

第150回  
クオリティーク  
ルポサイバーセキュリティと  
個人情報保護 - サイバー  
攻撃から個人情報・  
重要情報を守るために -

近年、企業を取り巻く環境において、様々な事象（リスク）を想定し、事業の継続性を平時から準備するBCP体制の確立が求められている。とりわけ、医療界でも従来は、災害や感染症領域が中心であったが、現在はサイバー攻撃（IT-BCP）の脅威に対する関心が非常に高くなっている。今回、畠中伸敏先生（一般社団法人リスク戦略総合研究所）の貴重なプレゼンを拝聴したので、以下ご報告したい。

ご承知の通り、医療機関では電子カルテを中枢に診療から看護、検査、医事会計業務に至る一連の場面で様々な部門システムが形成されている。多くの病院・施設では経済的な要因からセキュリティ対策への投資は二の次とされる環境下、VPN（バーチャルプライベートネットワーク）の脆弱性を突かれる事案も顕著である。昨今のランサム攻撃を受けた民間企業や医療機関などの事例が紹介されたが、復旧に相当の期間を要し

ているケースも少なくない。多くの場合、根本的な原因究明にまで至っておらず、恒久対策がとれていないことを示唆した。さらに、対策としては横展開を防ぐマイクロセグメンテーションの手法（ネットワークを細かくセグメント化し、アクセス制御を行う）やVPNゲートを変え、バックアップを頻繁に取得することを推奨した。確かに、ログ分析も含め、現場スタッフの地道な努力が不可欠であることを再認識すると同時に経営者も現状認識を一層深めるべきと感じた。

さらに予防処置活動として従業員教育の重要性にも着目されており、その一例として「標的型攻撃メール訓練」など継続的な訓練も有益であることを改めて学んだ。

今日、AIの進化の速度は凄まじく、脆弱化したソフトウェアの欠陥を短時間で的確に突いてくる能力を有するといわれている。これがもし、サイバー攻撃を仕掛ける側に悪用されると考えると恐怖以外の何者でもない。畠中先生の講演は、情報セキュリティに関する造詣が深く、沢山の引出しから繰り出される問題提起や解決の糸口などとても参考になり、続編への期待感も大きかった。貴重なご講演に感謝申し上げます。

松田 宏二（医療法人 湊仁会）

## 第456回 事業所見学会 ルポ

### ダイハツ インフィニアス 姫路(株)

2018年に操業を開始したダイハツインフィニアス株式会社姫路工場（旧・ダイハツディーゼル株式会社）は、2025年5月に商号を変更しました。次世代環境対応型エンジンの開発や、最新の生産体制づくりに取り組む思いが、新たな社名や「進む、をつくる。」という言葉に込められていました。

単に船舶用大型内燃機関を製造する工場ではなく、海と陸の社会インフラを支える重要な拠点として臨海立地を活用した海上輸送により分解なしでの出荷を実現した工場でもありました。

会社説明では、海事業界が2030年まで成長を続け、中国が世界シェア70%を占める現状が紹介されました。また、大型エンジン専用の臨海工場として設立された姫路工場の特徴や、最大51.3トンの重量物を無軌道で搬送可能なシステムDTTV（吊ってではなく載せて安全に運ぶ）についても説明。さらに、若手社員によるQCサークル活動の事例発表では、生産効率向上や作業時

間短縮への取り組みが共有され、グループ全体53サークルの活動は2026年7月号『QCサークル』誌へも掲載される予定です。

工場見学では、巨大部品をクレーンで搬入し、DTTVで工程内を移動しながら、チームで高精度に組み立てる迫力ある現場を体感しました。わずかなずれや漏れも許さない繊細な作業に加え、試運転や検査では温度・圧力データを細かく確認し、品質を徹底追求する姿が印象的でした。2026年2月本格運用が始まった新燃料（メタノール・アンモニア）対応試運転設備や研修センターを含む、約6.3万㎡の敷地を見学させていただきました。

環境対応や持続可能な社会の実現に向けた意識の高さと、地域に根ざしながら世界とつながる現場づくりに取り組む姿勢を学びました。



楠田 貴康（楠田経営品質研究所）

## 新規研究会を受け付けます

研究開発委員会では、本年度に設置する新規公募研究会の申請を受け付けます。奮って申請してください。特に、若手会員を主査とする研究会を歓迎いたします。

研究期間：2026年10月～2027年9月（1年間）

申請方法：「新規研究会設置申請書」（様式204-1）をホームページよりダウンロードし、ご記入の上、メール添付で本部事務局宛にお送りください。

<https://jsqc.org/studygrouppentry/>

申込締切：2026年7月1日(水)必着

申込先：jimukyoku@jsqc.org

研究会の申請と運営：

- 研究会の申請にあたり、申請者は共同研究者（学界・産業界）を5～10人位事前に働きかけて集め、申請書に記入する。理事会承認後JSQCニュースでメンバーを公募する。
- 研究目的と年間の研究活動計画を作成する。
- 1研究会のメンバーは20人までとする。
- 会場：Zoom会議室  
対面の場合は、原則として日本科学技術連盟東高円寺ビル会議室を利用する。
- 対面の会議の際、時間は18時～20時とし、食事を支給する。ただし、会場の都合がつけば午後でも可とする。研究会運営費は一人1回当たり1,150円（内訳：通信費・資料代・食事代）。ただし、年間開催数は11回を限度とする。

## 行事案内

### ●（予告）第141回研究発表会（中部）

日程：2026年8月26日(水)

会場：名古屋工業大学(愛知県名古屋市)

### ●（予告）第56回年次大会（本部）

日程：2026年11月14日(土)

会場：慶應義塾大学 矢上キャンパス  
(神奈川県横浜市)

## 事務局

JSQCホームページ：<https://jsqc.org/>  
イベント・行事：<https://jsqc.org/events/>

本部：〒166-0003

東京都杉並区高円寺南1-2-1

日本科学技術連盟東高円寺ビル内

E-mail：jimukyoku@jsqc.org

TEL：03-5378-1506

FAX：03-5378-1507

中部支部：E-mail：nagoya51@jsa.or.jp

TEL：050-1742-6188

FAX：050-3535-8675

関西支部：E-mail：kansai@jsqc.org

TEL：06-6341-4627

FAX：06-6341-4615

## 行事案内

## ●第460回事業所見学会（中部）

テーマ：“音づくり”の現場から考える品質とは～ヤマハ グランドピアノ製造に学ぶ品質づくり～

日程：2026年7月2日(木)13:00～16:30

見学先：ヤマハ(株)掛川工場(静岡県掛川市)

定員：30名

※同業他社のお申し込みはご遠慮ください

申込締切：2026年6月19日(金)

詳細・申込：<https://jsqc.org/460visit/>

## ●第186回シンポジウム（中部）

テーマ：生成AIを活用したソリューション  
全体の品質管理～作る側・使う

側の視点から考える共通課題～

日時：2026年7月6日(月)13:30～16:30

プログラム：オンライン（Zoomミーティング）

※アーカイブ配信あり

基調講演 AIの品質管理と今後の課題について

妹尾 義樹 氏

（産業技術総合研究所）

事例講演1 フィジカルAIの品質  
マネジメント

難波 孝彰 氏

（産業技術総合研究所）

事例講演2 生成AI実践ガイドと  
企業事例集（概略版）

杉山 阿聖 氏(Citadel AI)

パネル討論

コーディネーター：泉井 一浩 氏

（京都大学）

パネラー：上記講演者

詳細・申込：<https://jsqc.org/186sympo/>

## ●第158回講演会（関西）

テーマ：人の成長の質を上げるAIとの  
上手な付き合い方

日時：2026年7月27日(月)13:30～16:45

会場：日科技連 大阪事務所内 研修室  
およびオンライン（Zoomミーティング）

プログラム：

講演(1)製造業におけるAI活用の現場と  
品質課題への応用

奥山 博史 氏

（ヤンマーホールディングス）

講演(2)人工知能の基礎と未来 — 技術・  
人間・社会の視点から

藤田 大輔 氏 (奈良県立大学)

詳細・申込：<https://jsqc.org/158lecture/>

## ●第142回研究発表会（関西）発表募集

日程：2026年9月17日(木)

会場：関西学院大学 大阪梅田キャンパス

(1) 申込期限

発表申込締切：8月3日(月)

予稿原稿締切：9月3日(木)必着

参加申込締切：9月15日(火)

(2) 研究発表・事例発表の申込方法

[https://jsqc.org/142technical\\_cfp/](https://jsqc.org/142technical_cfp/)

(3) 参加申込

<https://jsqc.org/142technical/>

## ●第23回ヤング・サマー・セミナー

日程：2026年8月5日(水)～6日(木)

会場：デンソーグローバル研修センター

「AQUAWINGS」(静岡県浜松市)

参加資格：原則35才以下

詳細・申込：<https://jsqc.org/23ysss/>

## 事務局からのお知らせ

## 新会員管理システム導入のご案内

このたび本学会では、さらなる会員サービスの向上のため、2026年7月上旬より新会員管理システム「SMOOSY」(株)アトラス)を導入します。

これに伴い、新たに「マイページ」をご利用いただけるようになります。

## ●マイページでできること

◇ご自身の登録情報の閲覧、変更

◇会費納付状況の確認

◇会費のオンライン決済手続き（クレジットカード決済等）

◇会費の請求書、領収書PDFのダウンロード

◇行事の参加申込 など

ログイン方法などの詳細については、利用開始時に本学会にご登録のメールアドレス宛にご案内いたします。

なお、マイページへのログインにも、本学会ご登録のメールアドレスが必要です。メールアドレスが不明、または使用できない場合は、事務局までご連絡ください。

また、今後、詳細については下記URLにて随時お知らせいたします。  
[https://jsqc.org/membership\\_smoosy/](https://jsqc.org/membership_smoosy/)（7月上旬公開予定）

## 事務局からのお知らせ

## JSQC規格頒布のお知らせ

この度、下記の規格が改定されましたので、ご希望の会員の方に実費で頒布いたします。

JSQC規格 Std 32-001 「日常管理の指針」(英訳版)

1. 申込方法：下記URLよりお申込みください。

詳細・申込先：<https://jsqc.org/jsqcstd/>

2. 資料代：1冊（A4判56頁：PDF版）会員20ドル、非会員25ドル

振込み先：一般社団法人 日本品質管理学会

三菱UFJ銀行 渋谷支店 普通預金 4313820

資料は入金を確認の上、送付いたします。

## 代議員・役員選挙告示

日本品質管理学会第56年度～第57年度(2026年11月14日総会～2028年総会)の代議員ならびに役員選挙を次の日程で行います。

立候補・推薦受付：

6月20日(土)～30日(火)

投票期間：8月1日(土)～31日(月)

開票日：9月24日(木)